

# 好生館 だより

K O S E I K A N  
D A Y O R I

2020.7

Vol.

47



地方独立行政法人  
佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN  
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



写真:JAさが中部地区青年部嘉瀬支部よりたまねぎの寄贈

## CONTENTS

[メッセージ]  
理事長あいさつ／館長あいさつ……………1  
[好生館ニュース]  
新型コロナウイルス感染症診療における好生館の役割 ……2  
[診療科の紹介]  
腫瘍内科(臨床腫瘍科)／脳神経内科……………3  
小児外科／精神科 ……4  
看護部だより ……5

救命救急センターの紹介／中央診療部の紹介(材料部)／  
感染制御部だより ……6  
登録医療機関のご紹介(藤川病院, 矢ヶ部医院) ……7  
患者・家族総合支援部だより ……8  
お仕事の話／医療安全管理部だより／事務部だより ……9  
新任医師の紹介／教育センターだより／お答えします ……10  
外来医師一覧表 ……11

# Message

—メッセージ—



理事長 桐野 高明

## 理事長あいさつ

### 新型コロナウイルスのパンデミック

新型コロナウイルスのパンデミックの中にあつて、好生館の医師・看護師はじめ職員一同懸命にその治療に取り組んで参りました。この間、ご支援をいただきました佐賀県をはじめ関係の方々に厚く御礼を申し上げます。また、県民の皆様からも暖かいご支援をいただき、心より感謝しております。2003年のSARS、2009年の新型インフルエンザは、日本にとつても身近な大問題でした。その後、2012年にMERS、2014年に西アフリカでのエボラ出血熱の流行がありました。

どちらも、きわめて致死性の高い危ないウイルス感染症ですが、幸いにして、日本には大きな影響がありませんでした。新型コロナ

ウイルスでは、日本でもパンデミックとなり政府が緊急事態宣言を発出するという事態になりました。この問題は、政府も長丁場になると言明していて、短くても1年以上の間は警戒を怠ることはできないということです。また、長期的にみると、コロナウイルスとは別の新興ウイルス感染症がわが国で流行する可能性があります。国際的な感染症の流行には目が離せない時代になったと考える必要があるでしょう。好生館は、佐賀県の基幹的な病院としてがん、脳卒中、心疾患などの疾患や、救急医療をその大きな任務として参りました。パンデミックの状態においてそのような疾患が減少するわけではありません。従来通りの急性疾患の診療に取り組んでいくとともに、新型コロナウイルスなどの感染症の医療にも、警戒を怠らないようにしていきたいと考えています。皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

## 館長あいさつ

### 医療界を襲った脅威からの脱出

令和2年、新型コロナ(COVID-19)感染症は世界中の医療の脆弱性をあらわにし、未曾有の犠牲をもたらしました。6月上旬、世界の感染者は600万人を超え、37万人以上の死亡者が報告されています。好生館では、コロナ陽性患者に対する徹底した隔離診療を行うとともに、手術・検査・外来等、不要不急診療の制限・延期、来館者発熱トリアージなどによる厳格な院内感染予防対策を継続してきました。職員一人一人の強い責任感、使命感のおかげをもちまして、また連携医療機関の皆様のご協力ご支援により、幸いにも院内感染を生じる事なく経過しております。結果、入院患者は半減し、外来患者も激減する状況に至りましたが、すでに1日も早い復帰に向け、始動しております。

苦い経験となりましたが、館内の連帯感がこれまで以上に強化され、好生館ワンチームとしての医療を実感できたことは大変喜ばしいことです。起こってほしくない第2波に備えつつ、常に患者さんに安心していただける病院として、全職員全力で励んでいく所存です。

今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



館長 佐藤 清治



## 新型コロナウイルス感染症診療における好生館の役割

感染制御部  
部長

福岡 麻美

当館は佐賀県における唯一の第1種感染症指定医療機関です。第1種感染症指定医療機関は、感染症法で定められた1類感染症、2類感染症、新型インフルエンザ等感染症の患者が発生した場合、その入院診療を担当します。

2019年末、中国の武漢に端を発し、グローバル化の波とともに急速に日本で感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月28日感染症法における指定感染症(2類感染症相当)に定められ、法律に基づいた入院措置がとられることになりました。確定症例は感染症指定医療機関のみで診療することとなり、佐賀県内では当館および4つの第2種感染症指定医療機関の計5医療機関が対応しました。感染の第一波において県内では45名の感染患者さんが発生し、当館では17名の入院を受入れました。

新型コロナウイルス感染症(疑いを含む)患者さんは感染症患者専用の外来で診察を行い、入院の際は専用の出入口を用い、専用のエレベーターで感染症病棟に移動します。病室はすべて個室で、室内にトイレ・シャワーが設置されており、外来、入院ともに一般の患者さんと接触することはありません。病室は、室内の空気が外に漏れ出ないように陰圧空調に管理され、排水も独立して処理されます。対応する医療従事者は个人防护具を着用し、厳重な感染対策を実施しています。

今後第二波の到来が懸念されますが、最善の医療を提供すると同時に、患者さんや職員を感染から守り、安全な医療が提供できるよう万全を期してまいります。



感染症病棟入口



感染症病室



感染症患者専用エレベーター



救急外来・感染症患者診察室入口

腫瘍内科(臨床腫瘍科)

がんとともに生きる

腫瘍内科(臨床腫瘍科)部長 柏田 知美



中の患者さん全員COVID-19感染他の重篤な感染性合併症を併発することなく治療継続できております。がんを抱える不安を煽るCOVID関連情報が氾濫し死の恐怖に直面する中、感染予防策を遵守し粛々と治療に臨まれている患者さんご家族に対し心から敬意を表します。臨床腫瘍医の役割が“がんと共に自分らしく希望をもって生きていただくための最善の医療が何かを考えぬくこと”であると再認識し、今後もがん患者さんと共に歩んで参ります。

4月の着任と同時に“コロナ禍におけるがん薬物療法”という難題に直面し、どうすれば安全性を担保して治療が継続できるのか、そもそも緩和的化学療法継続による有益性が不利益を上回るのか、少ないエビデンスを拠所に悩みました。腫瘍の病勢、治療薬による免疫抑制リスク、生活環境、がん以外の基礎疾患、薬剤性間質性肺炎等の重篤な合併症発症時の対応など平時も常に意識している事項ですが、がん薬物療法の延期や中止を推奨する根拠もない以上は、治療薬投与量や間隔調整による継続を前提に診療しております。通院治療継続に際しては患者さんご家族には当館へ来館することによる感染リスク不安もあったことと推察します。前述の医学的判断は主治医判断になりますが、特に緩和的化学療法の継続要否・適否にかかる判断は患者さん自身の価値観が重要な決定要素となるため、がん治療における個々の目的を新たに共有する機会となりました。6月上旬現在、当科で外来化学療法



脳神経内科

標榜診療科名「脳神経内科」について

わが国で診療科として「神経内科」の標榜が認可されたのは1975年でした。それ以後、多くの病院では「神経内科」を標榜診療科名としてきました。しかし、いまだに心療内科や精神科と混同されることがあるとともに、脳卒中やてんかん、認知症などよくみる疾患を専門的に診療する診療科であることが、広く患者さんに知られていない状況が続きました。そこで2017年9月に日本神経学会として標榜診療科を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することが決まりました。これにより、脳・神経の疾患を内科的専門知識と技術を持って診療する診療科

脳神経内科部長 高島 洋



であることがわかりやすくなり、「脳神経外科」の内科側のパートナーとして位置づけが明確になることが期待されます。当科は、2010年6月より「脳神経内科」をすでに院内標榜していたために診療科名を変更せずに済みました。これからも佐賀県の基幹病院として脳卒中、てんかん、認知症などのcommon diseaseを中心に診療していきますのでよろしくお願い致します。



## 小児外科

## スタッフが大きく変わりました

小児外科部長 山内 健



これまで部長と若手医師2人の3人体制でしたが、今年度より部長と医長の2人体制となりました。人数は減りましたが、どちらも小児外科の経験が約20年以上のベテランです。私は当院への赴任は3回目で、小児科や産婦人科、消化器外科を始め、他科との連携もとれております。

当科では鼠径ヘルニアや急性虫垂炎のほぼ全例を腹腔鏡下に手術しており、いつもきれいな傷でなるべく痛くない手術を心がけています。私の専門は栄養管理ですが、昨今は、ERAS (Enhanced Recovery After Surgery) という周術期管理の最適化プログラムが広まり、当科においても術後の絶食

や安静期間を短くして早期から食事を開始し、少しでも早く自宅に帰れる治療を目指しております。胃瘻などの栄養関連の器具や栄養剤に関する知識も豊富ですので、何かお困りのことがあればいつでもご相談ください。



## 精神科

## 精神科リエゾンチームの取り組み

リエゾンとは、フランス語で「連携」という意味です。

2017年度より、「精神科リエゾンチーム」という、精神科領域専門の多職種チームを結成しました。リエゾンチームは主に、身体疾患と精神疾患(症状)が合併した患者さんの診療にあたっています。

## ○リエゾンチームのメンバー

精神科医師 2名 公認心理師 1名  
精神科認定看護師、認知症認定看護師、薬剤師、  
精神保健福祉士 各1名

## ○対象となる疾患、状態

当院に入院されている患者さんで、不眠・抑鬱・せん妄などの症状がある方、元々精神疾患(統合失調症、躁うつ病など)

をお持ちの方、認知機能低下がある方、多量飲酒歴のある方など、あらゆる精神不調の方に対応します。

## ○診療の方法

定期的に患者さんの病室にうかがい、ベッドサイドや面接室で診療をおこないます。

リエゾンチームは、好生館での身体疾患の治療がスムーズに行えるように、こころの面からサポートを行っています。

精神科部長 石井 博修



## ◎認知症ケアを充実するために 新たな取り組みを開始しました

超高齢化社会を迎え、認知症の方も増加傾向にあります。当館でも2019年度の入院患者さんの63.5%が65歳以上の患者さんでした。このような現状を踏まえ、看護部では、認知症ケアをより充実させるために、認定看護師を活用した2つの取り組みを始めました。



### 取り組み1 認知症ケアリンクナース会の設立

精神科リエゾン看護師の花房喜代治です。今年度新たに認知症ケアリンクナース会が設立され、5月より開始しました。各部署のリンクナースメンバーを中心に認知症研修を企画し認知症対応能力の向上に努めています。認知症になっても、患者さんやその家族が安心して治療に臨める環境づくりと適切な認知症ケアの実現が、認知症ケアリンクナース会の役割だと考えています。



### 取り組み2 認知症看護認定看護師の専任配置

認知症看護認定看護師の北島佳奈です。6月1日より、組織横断的な活動を開始しました。認知症の方が入院すると、慣れない環境や身体疾患の症状の影響が加わり、認知症の症状が悪化したり、混乱したりすることがあります。そんな時、多職種と連携し認知症の方の思いを受け取り、不安を軽減し、病気と向き合えるようなサポートを行います。

## 助産師外来を始めました

好生館では、母性看護専門看護師の資格を持つ助産師を中心に、6月から看護専門外来の1つとして助産師外来を立ち上げました。妊産婦への健康診査・保健指導を行っています。

私たちは、妊産婦が不安を解消して主体的に妊娠・出産・産褥期を過ごせるように継続的なケアの提供を目指しています。

- 母性看護専門看護師：社会的・心理的リスクが高い妊産婦に対する高度実践と他職種連携の調整により複雑な問題の解決を目指します。
- アドバンス助産師：産褥期の母乳トラブルのケアを行います。
- 助産師：リスクが少ない妊産婦への健康診査・保健指導・メンタルヘルスケアを実施します。

#### ☆診療体制

月・火・木曜日 8:30~17:15 (医師の診察と連動して行っています)

#### ☆対象

当院を受診するすべての妊産婦

#### ☆担当スタッフ



母性看護専門看護師 (依 由里子)



アドバンス助産師・助産師



## 救命救急センターの紹介

### 救急医療(=医の原点である)という 普遍性の継続と模索



救命救急センター長  
岩村 高志

救命救急センターでは、walk-in受診の救急外来患者を研修医および各科指導医が担当し、救急車(ドクターヘリ)および各医療機関からの紹介患者を救急科医師(金・土・祝前日夜間は各科医師)が主に担当しております。また、脳卒中・循環器・外傷・小児周産期・集中治療グループ等とも十分連携し、迅速かつ高度な医療を提供いたしております。

当館の救急外来は、佐賀県民の「急を救う(救急)」ことを使命とする部門であり、その中で、我々救急科は、重症化した佐賀県民の救急医療を担っている自負がございます。

今後も、その責務を全うすべく人員と体制を整えることが課題と思っております。



## 中央診療部の紹介(材料部)

### 材料部の紹介



材料部 看護師長  
下村 聡美

材料部では、手術室・各病棟・外来で使用する器材の洗浄・消毒・滅菌を行っております。各部門から回収された使用済みの医療用器材を、それぞれの特性や汚染状況に応じてジェットウォッシャー、超音波洗浄機、蛇管洗浄機、手洗いにより洗浄します。洗浄が終了した医療用器材は、特性に応じて防錆処理後、セット組及び包装を行い、高圧蒸気滅菌装置、低温プラズマガス滅菌装置等を用いて滅菌を行います。

現在当院は、これらの業務を洗浄・消毒・滅菌作業の

知識や技術に長けた専門業者に委託しております。業務委託することで、看護師が患者さんの手術介助やケアに集中できるとともに、効率的で質の高い運営ができています。



## 感染制御部だより

### 「新しい生活様式」を取り入れてみましょう



感染制御部 専従看護師  
山口 文美

5月初めに厚生労働省より、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が公表されました。書かれている事すべてを実施することが理想ですが、難しくも感じます。

しかしコロナウイルスに限らず、あらゆる感染症を予防する上でも感染対策は必要です。

感染は、目や鼻などの粘膜からウイルスが侵入することにより起こります。こまめな手洗いやマスクの着用は、簡単に取り入れられる感染対策です。

新しい生活様式では、感染防止の3つの基本として

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いが掲げられています。できることから取り入れてみましょう。





い りょう ほう じん せい い かい 医療法人聖医会  
ふじ かわびょういん 藤川病院



- 〒840-0831  
佐賀県佐賀市松原 1 丁目 2 - 6
- TEL 0952-29-0311
- 診療科：整形外科・リハビリ科・  
リウマチ科・スポーツ整形・  
脳神経外科・内科
- 開 業：昭和 28 年
- 院 長：藤川 謙二



【アピールポイント】

佐賀市の中心部である佐賀県庁前に位置し、60年以上の歴史を持つ病院です。整形外科をメインに内科、リハビリテーション、リウマチ疾患や脳神経外科にも対応しています。各科には専門医を配置。  
救急病院として、いつでも地域の患者様のニーズにお応えします。皆様に愛される病院として、また地域の皆様に貢献できるようにスタッフ一同精進し、患者様にとって一日も早い社会復帰を支援しています。

【モットー】

一燈照隅の精神で赤ひげの心を持って、  
地域医療に奉仕させていただきます。

【趣味、休日の過ごし方】

宝生流のお謡い、読書、ゴルフ、  
人間学勉強会開催

【医師を目指した理由】

大正2年から続く三代目整形外科医として、佐賀の為に医療を通じて貢献することを家業と自覚した為。

【院長先生から一言】

好生館には整形外科、救急医療を通じて、病病連携として未永くお世話になります。今後共よろしく  
願います。



い りょう ほう じん じんしん かい 医療法人純伸会  
や か べ い いん 矢ヶ部医院



- 〒840-0015  
佐賀県佐賀市木原 3 丁目 2 - 11
- TEL 0952-29-6121
- 診療科：内科・外科
- 開 業：昭和 51 年 5 月 1 日
- 院 長：矢ヶ部 伸也



【アピールポイント】

かかりつけ医として地域の相談窓口としてどんな病気にも初期対応できるようにしています。とくに糖尿病のコントロールに力を入れており、栄養指導もしています。また、住み慣れた場所となるべく過ごせるよう、在宅医療にも力を入れています。在宅看とりも行って  
います。好生館の緩和ケア科の先生方と連携して在宅での看とりとホスピスでの看とりとどちらでも対応できるような体制を構築しています。

【モットー】

受診した方が納得できる治療法とその説明を。

【趣味、休日の過ごし方】

ジョギング、テニス、子供と公園で遊ぶ。

【医師を目指した理由】

先代が矢ヶ部医院を創業し、その影響です。

【院長先生から一言】

病気は自然災害同様に、突然降り掛かってきますから、その非日常に備えるのが医者役割だと思います。生活習慣病など、長く付き合う必要のある病気についてはご本人、ご家族の理解と納得が必要です。当院では受診していただいた方の生活に寄り添う医療を目指しています。

【その他】

佐賀大学医学部の循環器内科、心臓血管外科の先生方を非常勤にお招きし、心臓や血管の病気についても診療を行っています。非常勤の先生方の診療については時間が限られていますので、お問い合わせをお願いします。





## 患者・家族総合支援部だより

## 入退院支援センターだより

## 「移転拡充しました」

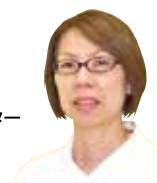
入退院支援センター開設3年目を迎え、この度ローソン跡地に移転しました。

現在、14診療科の予定入院患者さんに対応しており、今年度中に全診療科への介入をめざしています。

新たな場所で心機一転、より一層入院前からの入退院支援の強化に取り組んでまいります。

是非一度お立ち寄り下さい。

入退院支援センター  
看護師長  
山口 雅子



## 相談支援センターだより

「がんに向きあう読本SAGA2020年度版」を  
ご活用ください

地域でのがん情報として活用して頂くためのハンドブック「がんに向きあう読本SAGA2020年度版」を作成しました。情報を求める皆様は、環境や希望によって電子媒体がよい方、冊子等を手にして読む方がよい方と様々です。がん相談支援センターのがん専門相談員は、個々の状況に応じ、確かな情報をお渡しできるよう整備することも大切な役割です。がんに関する様々なお役立ち情報を館内のがん相談支援センターやアピアランスケアギャラリー、佐賀県立図書館 好生館分室に配置しております。ホームページ掲載情報とともに是非ご活用ください。

相談支援センター  
係長  
大石 美穂



アピアランスケアギャラリー写真

## 地域医療連携センターだより

## 3本柱で構成しています

地域医療連携センターは、連携推進員、看護師、事務の3本柱で構成しています。

連携推進員の活動は、Dr. to Dr. の連携強化を目的としており、各医療機関への訪問を通じて情報の発信や収集を行っております。

看護師は、電話や窓口での医療相談、転院受け入れ調整、在宅支援。

事務は紹介元からの予約業務・データ管理・情報提供を行っております。

3本柱で、スムーズな対応ができるように頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

地域医療連携センター  
係長  
本告 信博



知っていますか

## お仕事の話

### その10 医療ソーシャル・ワーカーをご存知ですか？

病気になると誰でも様々な困りごとや心配なことが増えてきます。

例えば、仕事が続けられるか？家で病気の母を介護したいがどうしたらいいかわからない…など、誰に相談していいかわからないことを医療ソーシャル・ワーカーが相談にのります。

好生館では外国人対応や性暴力救援センターさが・mirai等被害者支援も行っています。

高齢者や障がい者、児童や女性、外国人など社会的に不利な立場を感じる方も含め、全ての患者さんと家族が適切に医療を受け、心理的・社会的・経済的な問題の解決ができるように、関係機関と連携して、調整や退院支援を行っています。

医療ソーシャル・ワーカー  
岩村 昌子



## 医療安全管理部だより

### 患者安全推進ジャーナルに好生館の取り組みが紹介されました

日本医療機能評価機構の認定病院患者安全協議会から3ヶ月毎に「患者安全推進ジャーナル」が発刊されています。医療現場からニーズのあるテーマを特集した記事や事例の紹介、また有害事象の分析・再発防止策が取り上げられています。

2020年No.59号の「医療安全にむけた会員病院の取り組み」に当館が掲載されました。昨年度の活動を中心に医療安全管理部が取り組んだ内容が載っています。「医療安全推進ジャーナル」は医療従事者にとって有用な記事が満載です。ぜひ、皆様ご一読ください。

医療安全管理部  
GRM  
川内 ひとみ



## 事務部だより — 総務課 —

### 「困った時には総務課」

総務課は、庶務係、人事係、給与係と広報担当から構成されており、会議や諸行事、防災関係、職員採用から服務、給与、職員旅費、更に広報に関すること等、多岐に亘る事務を行っています。したがって、地域の皆様との繋がりもあり、好生館の窓口としての役割を担う場面もあります。

地域の皆様のなかで、「好生館のどこに相談したらいいのかわからない。」という声を時々耳にしますが、何かわからないことがあればまずは総務課にご一報下さい。

「困った時には総務課」が定着すれば、地域での総務課の存在価値にも繋がりますので、遠慮なくご相談していただけたら幸いに存じます。

総務課 課長  
林 勝幸





新任  
医師の  
紹介

医員



5月1日付

眼科

医員  
しみず たまみ  
清水 瑞己



6月1日付

緩和ケア科

医員  
なかやま たかひろ  
中山 隆弘



教育センターだより

看護師の特定行為研修開講式を行いました

教育センター  
副看護師長  
北村 たか子



特定行為研修とは、看護師が医師の作成した手順書により特定行為を行う場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力、及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。

全国では2015年に開始され、当院では2019年から開始しました。今回2期生の開講式が行われ、4名の受講生を迎えました。患者さんやご家族の立場に立ち「治療」と「看護」の両面から支援出来るよう、これから10ヶ月の研修に入ります。



お答えします!  
皆様の声

皆様からいただいたご意見と、それに対する当館の回答をご紹介します。  
貴重なご意見ありがとうございます!



患者 Aさん

ATMについて  
郵便局の設置をお願いします。  
入院時、家族に出入金を頼んでいましたので、ぜひ設置をお願いします。

ご意見ありがとうございます。  
現在、好生館では、佐賀銀行・JAバンク・ローソン銀行(ローソン店舗内)の3行のATMを設置しています。  
新病院建築当初、ゆうちょ銀行のATMにつきましても、要望いたしましたが、設置にいたりませんでした。  
しかしながら、ゆうちょ銀行ATMの設置希望が多いことから、一昨年度より、再度、ゆうちょ銀行へATMの設置について要望しています。  
現在は、ゆうちょ銀行全体のATM台数の枠の問題もあり、当館へのATM設置は実現しておりませんが、引き続き要望していくこととしております。  
また、佐賀銀行・JAバンクのATM・ローソン銀行ATMでも、手数料は必要ですが、ゆうちょ銀行のカードがご利用頂けますので、ご案内申し上げます。



館 長  
財務課長

# 外来医師一覽表

(2020年7月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171（おかけ間違いのないようお気をつけ下さい）  
 診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。（受付時間は8時30分～11時）土・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。  
 なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分		月	火	水	木	金		
内 科	総合内科	新患 再来	竹下 千紘 松石 英城/原野 由美	原野 由美 松石 英城/竹下 千紘	竹下 千紘 松石 英城(隔週)/原野 由美(隔週)	原野 由美 松石 英城/竹下 千紘	松石 英城 原野 由美/竹下 千紘	
	呼吸器内科	新患 再来 専門外来	担当医 久保田 未央	担当医 加藤 剛	休 診 岩永 健太郎/桑原 雄紀	担当医 加藤 剛	担当医 岩永 健太郎/久保田 未央	
	肝胆脾内科	新患 再来	中下 俊哉/村山 賢一郎 島村 拓弥 富永 直之	古賀 風太 富永 直之 緒方 伸一	大座 紀子/中下 俊哉 松永 拓也 富永 直之	大座 紀子/村山 賢一郎 島村 拓弥 松永 拓也	古賀 風太/担当医 松永 拓也 島村 拓弥	
	消化器内科	ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—	
	血液内科	新患 再来	飯野 忠史 近藤 誠司/佐野 晴彦	佐野 晴彦 横尾 眞子	横尾 眞子 近藤 誠司/飯野 忠史	近藤 誠司 横尾 眞子/移植後フォロー外来(午後)	近藤 誠司 佐野 晴彦	
	腎臓内科	新患 再来	松本 圭一郎 吉村 達	中村 恵 吉村 達/江頭 絵里奈	野中 康徳 江頭 絵里奈	松本 圭一郎 吉村 達/江頭 絵里奈	中村 恵 —	
	糖尿病代謝内科	新患 再来	吉村 達 福岡 麻美	吉村 達/江頭 絵里奈 福岡 麻美	江頭 絵里奈 福岡 麻美	吉村 達/江頭 絵里奈 福岡 麻美	— 福岡 麻美	
	膠原病・ リウマチ内科	午前(新患・再来) 午後(再来)	— —	— —	— 末松 梨絵	— —	— 末松 梨絵	
	消化管内視鏡 (責任者)	新患 再来	緒方 伸一 加藤 剛	中下 俊哉 —	緒方 伸一 桑原 雄紀	富永 直之 久保田 未央	緒方 伸一 —	
	腹 部 エ コ ー	新患 再来	大座 紀子 古賀 風太	*大座 紀子 *村山 賢一郎 (*隔週で交代)	古賀 風太 村山 賢一郎	中下 俊哉	村山 賢一郎 大座 紀子	
	透 析	新患 再来	中村 恵 柏田 知美	松本 圭一郎 柏田 知美	中村 恵/松本 圭一郎 柏田 知美	中村 恵 柏田 知美	松本 圭一郎 柏田 知美	
	腫瘍内科 (臨床腫瘍科)	新患 再来	担当医 柏田 知美	担当医 柏田 知美	担当医 柏田 知美	担当医 柏田 知美	担当医 柏田 知美	
	小 児 科	新患 再来 専門外来(完全予約制)	担当医 アレルギー外来	担当医 内分泌外来/循環器外来	担当医 循環器外来/内分泌外来	担当医 神経外来	担当医 血液外来	
	循 環 器 科	不整脈外来 (完全予約制、新患 は水曜午前のみ)	新患 再来	アレルギー外来 乳児健診 予防接種	神経外来(第2) 内分泌外来 予防接種/循環器外来	循環器外来/内分泌外来 予防接種	1ヶ月健診 腎臓外来(第1・3) 神経外来	アレルギー外来 血液外来(第1・3)
		ペースメーカー外来(午前・予約制)	新患 再来	江島 健一 堤 孝樹	吉田 敬規 中村 郁子	江島 健一 堤 孝樹	中村 郁子 吉田 敬規	三上 剛 酒見 拓矢
		心臓弁膜症外来(午後)	新患 再来	本田 修浩	— (web予約)担当医	(新患)担当医 — (web予約)担当医	— (web予約)担当医	— 本田 修浩
		心臓リハビリ外来(午後)	新患 再来	—	—	—	—	—
	精 神 科	新患 再来	—	—	—	—	—	
	放 射 線 科	放射線診断 ・IVR	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	
		放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳 神 経 内 科	新患・再来 専門外来(完全予約制)	高島 洋 — パーキンソン病外来	高島 洋 — —	星野 有紀 高島 洋	星野 有紀 — 高島 洋	高島 洋 — —		
脳血管内科	新患 再来	上床 武史	杉森 宏	東 英司	上床 武史/古森 元浩	杉森 宏		
緩 和 ケ ア 科	がん看護外来	完全予約制	—	—	—	—		
禁煙外来	新患 再来	—	久保田 未央	江島 健一	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	—		
外 科	消化器外科	新患 再来	田中 聡也 佐藤 博文	久保 洋 平木 将紹	奥山 桂一郎(第1・3・5)/佐藤 博文(第2・4) 池田 貯 久保 洋 (化学療法室)	池田 貯 奥山 桂一郎	平木 将紹 田中 聡也/佐藤 清治	
	肝胆脾外科	新患 再来	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	古賀 浩木	北原 賢二	
	乳 腺 外 科	新患 再来	—	手 術	白羽根 健吾/黒木 瑠美	手 術	白羽根 健吾/黒木 瑠美	
	呼吸器外科	新患 再来	手 術	寺崎 泰宏	手 術	宮本 詩子	手 術	
	小 児 外 科	新患 再来	山内 健 竜田 恭介	寺崎 泰宏/宮本 詩子/武田 雄二	山内 健 竜田 恭介	寺崎 泰宏/宮本 詩子/武田 雄二	山内 健 竜田 恭介	
		新患 再来	山内 健 竜田 恭介	手 術	山内 健 竜田 恭介	山内 健 竜田 恭介	手 術	
眼 科	新患 再来	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/新井 律樹	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/新井 律樹	手 術 清水 瑞己/新井 律樹		
	新患 再来	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/新井 律樹	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/新井 律樹	手 術 清水 瑞己/新井 律樹		
産 婦 人 科	婦人科 産科	金井 督之/八並 直子 室 雅巳/中山 幸彦	安永 牧生/中山 幸彦 室 雅巳/大隈 香奈	安永 牧生/中山 幸彦 室 雅巳/大隈 香奈	安永 牧生/神下 優 室 雅巳/金井 督之	安永 牧生/神下 優 室 雅巳/八並 直子		
	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	手術日(急患のみ担当者) 大隈 香奈	金井 督之 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	手術日 (急患のみ担当者)	手術日 (急患のみ担当者)		
(14:00～16:00)		助産師	助産師	助産師	助産師	助産師		
耳 鼻 いんこう科	新患 再来	手 術	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子	手 術	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子		
	新患 再来	手 術	回診・検 査	手 術	回診・検 査	回診・検 査		
泌 尿 器 科	新患 再来	徳田 倫章/諸隈 太 平井 良樹/魚住 友治	徳田 倫章/諸隈 太 平井 良樹/古森 広輝	手 術	徳田 倫章/諸隈 太 平井 良樹/魚住 友治	手 術		
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	—		
歯科口腔科	新患 再来	野口 信宏 秋浦 寛規	野口 信宏 秋浦 寛規	野口 信宏 秋浦 寛規	野口 信宏 秋浦 寛規	野口 信宏 秋浦 寛規		
形成外科	新患 再来	原田 慶美 外来手術	手 術	回診 フットケア外来	手 術	原田 慶美 外来手術		
皮 膚 科	新患 再来	—	—	—	岩永 知未	—		
整 形 外 科	一般整形	塚本 伸章/岡 和 一朗 松下 優/北出 一季	手 術	前 隆男/小宮 紀宏 松下 優	手 術	塚本 伸章/小宮 紀宏 岡 和 一朗		
	脊 椎	林田 光正	—	林田 光正/馬場 寛	—	馬場 寛		
脳 神 経 外 科	新患 再来	松本 健一/溝上 泰一郎	手 術	溝上 泰一郎/井戸 啓介	手 術	松本 健一/井戸 啓介		
	新患 再来	手 術	内藤 光三 里 学	手 術	川崎 裕満 里 学	手 術		
心 臓 血 管 外 科	新患 再来	—	—	—	—	—		
	新患 再来	—	—	—	—	—		
人 間 ドック	新患 再来	末松 梨絵 高島 洋	井之口 香映子 松本 健一	高島 洋 高島 洋	杉森 宏 上床 武史	井之口 香映子 杉森 宏		
	新患 再来	—	—	—	江島 健一	—		
看護専門外来	ストーマ、床ずれ、失禁 (完全予約制)	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍		